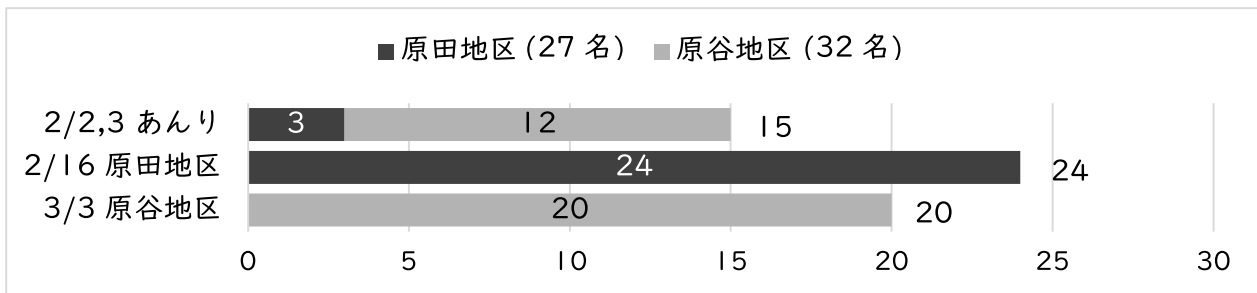
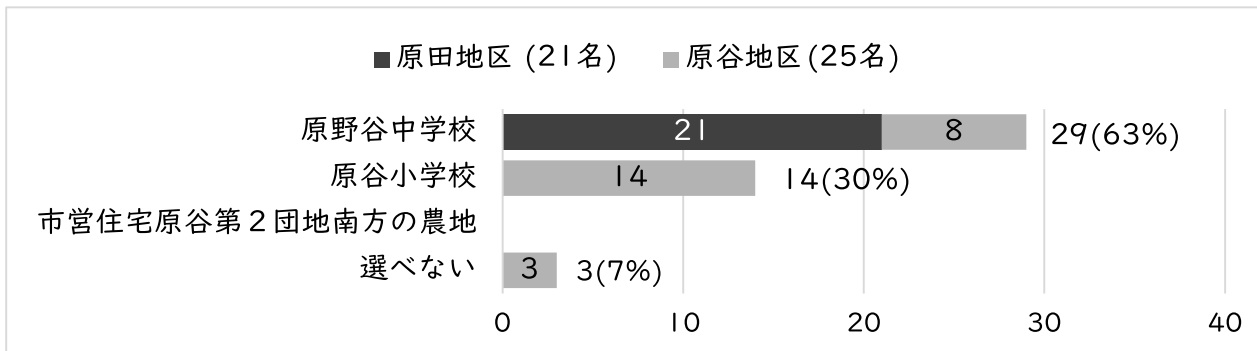


【原野谷学園新たな学校づくり】保護者説明会アンケートまとめ

1. 参加者内訳（合計 59 名） ※重複の場合は開催日が早いほうでカウント



2. 学校の建設地について（回答者 46 名） ※回答者重複の可能性有



<理由・コメント>

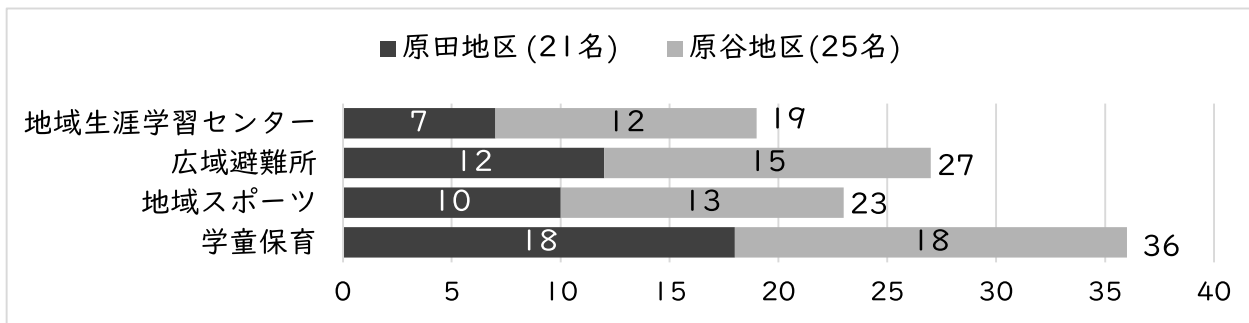
【原野谷中学校】

- ・ 敷地の広さ（4）
- ・ 一番現実的で、スピード感を出してやってもらえると思う（4）
- ・ 一番早く実現できるから（3）
- ・ 原谷・原田の中心になると思うから（3）
- ・ 地盤や予算を考えると原野谷中の敷地にするのが良いと思う（3）
- ・ 液状化などリスクが少しでも多い所に子どもたちを通わせるのは抵抗がある（2）
- ・ どちらの地区も中学生になれば通うと認識していた場所だから（2）
- ・ すでに中学生が通学しているため通学路なども考えやすく見通しが立てやすい
- ・ サッカーや野球、テニスコートがある学校であってほしい

【原谷小学校】

- ・ 学区を広げることを考えると原谷小の位置のほうが良い（5）
- ・ 通学にあたり人数が多い原谷の子どもが移動するのは大変（4）
- ・ 家から近いため（3）
- ・ 通学や環境面があまり変わらないほうが子どもにとって良い
- ・ 多くの地域の方が利用されるのでアクセスを考慮してほしい
- ・ 現在の原谷小では狭いと思うが道路を挟むと大変なので、南側の市営住宅を北側にずらして、市営住宅の敷地に学校を建てたらどうか

3. 複合したい公共施設について（回答者 46 名） ※回答者重複の可能性有



<理由・コメント（○複合したい、×複合は不要）>

【地域生涯学習センター】

- お年寄り含め地域の人と交流できる方が良いから（4）
- × 必要性が感じられないので利用目的や意義を提示してほしい
- × 地区別に機能すればいいと思う

【広域避難所】

- 場所や広さが向いている
- 震災が多いので必須してほしい
- 避難がしやすい
- 新しい設備で作ってほしい

【地域スポーツ】

- クラブ活動などで外部にも使ってもらえるといい
- 地域交流ができる場があるといい
- 駐車場も確保できる一貫校の中に複合化でいいと思う
- × 高齢者のグラウンドゴルフ等も含まれるのなら他の場所があるので一貫校にその役割は必要ない

【学童保育】

- 同じ敷地内で子どもを預けたい（6）
- 働く親が増えているのであると助かる（6）
- 安全が確保された場所が良い（3）
- お迎えがしやすい

4. その他ご意見等

<通学>

- ・ 保護者は学校の場所がどこになってもまずは通学方法や安全性が1番心配な部分だと思う（3）
- ・ 通学支援を緩和してほしい（2）
- ・ バスに乗り遅れたらどうするのか（2）
- ・ 2km～4kmを小学生が歩かなければいけないことに疑問
- ・ 元々原谷小の近くに住んでいるのに学校の場所が変わるから3、4km歩けと言われても抵抗がある
- ・ 天浜線の利用も条件次第ではいいと思う

- ・ もっともっと噛み砕いた言い方で、通学距離の説明なども具体的に地区名を言って欲しい
- ・ 統合後 4km 圏内で徒歩になるが、以前学級閉鎖の時に低学年 3 人で登校したことがあり、低学年だけで森街道線の大きな道を渡らせる事が心配
- ・ 統合後 4km 付近に家があるが、子供の体力・精神的に徒歩通学は厳しいため、支援をしてほしい
- ・ 統合後 3.5km 程だが（栃原地区）、地区の人数も 2 人程になるため支援願いたい
- ・ どこをバス停にするかなど早めに考えて、地域の協力を得たほうが良いと思う
- ・ 中学生は自転車で行くのに小学生は歩いていくのか
- ・ 通学するためのバス・電車・歩き・自転車の手段を安全にできるように具体的な案を早く知りたい
- ・ スクールバスは児童数が減っても恒久的に運行してほしい
- ・ 通学路の総点検をしてほしい
- ・ これまでの通学方法をあまり変えない方法での通学支援がいい

<建設地>

- ・ なるべく現実的な年数で、早めの開校を希望（2）
- ・ 体育館 2 つ、プール 2 つ、武道場も必要なのか（2）
- ・ 6 年後に 90 人も生徒数が減るのに立派な校舎を建てる必要があるのか（2）
- ・ 建設費用や農地転用などの建設に対する手続きにしかメリットが感じられず、一貫校完成までの優位性でしか考えられていないのではないかと
- ・ まだ建てるどころの候補の段階で話を聞いても漠然とした意見しか出ないと思った。場所を決めて頂いてから、それから住んでいる方に色々な意見をもらうようにしてほしい
- ・ 検討中の内容で比較ができるものがあるなら教えていただきたい
- ・ 液状化は避けたい。費用面も含めて原野谷中敷地内で検討してほしい
- ・ どこの場所に決定するにせよ、子どもたちの安全を第一に考えていただきたい
- ・ 詳細説明がもっと欲しい
- ・ おしゃれなものより安全なもの、子ども目線のものを作ってほしい

<保護者向け説明会>

- ・ 早めに日程を調整してしっかりと伝えてほしい（2）
- ・ 意見を直接伝えられる場はとても大切だと思うので、今後も定期的開催してほしい
- ・ 地域全体の説明会は保護者が参加しにくいので敷居を少しでも低くする努力をしていただきたい
- ・ リモートなどでの配信も必要だと感じる
- ・ こういった会を開いて頂けるのは嬉しい
- ・ 子供の託児がないとなかなか参加したくても考えてしまう

<統合に関して>

- ・ 学校を統合するにあたって、なるべく負担が少ないようにしてもらいたい
- ・ 原谷小へ統合した際の用品は、今まで使用していたものを使わせてもらいたい。新たに購入は困る

<その他>

- ・ 避難する時の安全性をもっと分かりやすく説明して頂きたい
- ・ 根本的に子供が今後増える可能性が低い中、小中一貫校を作るメリットがいまいちわからない

- ・ なるべく早くスケジュールが出ると安心する
- ・ 原谷・原田の説明会で出た意見を共有できるとありがたい
- ・ 保護者も原田・原谷での交流があると良いと思う
- ・ 予算の話盛り込んだ説明会にしてほしい（50億円かかる等）
- ・ 保護者の意見を第一にして検討してほしい
- ・ 新しい学校は6～15歳までの児童が生活するため、それぞれの年齢に合った場所があるべきだと思う。グラウンドを大小2つに分けて遊具を年齢で分ける等、ケガやトラブルを避ける作りであってほしい
- ・ 小学校1年生から中学3年生までが一緒のところで生活するようになり、いい影響も悪い影響も受けると思うので、そういうところも気にかけたい
- ・ せっかく作るなら、様々な災害に対応した作りしてほしい。災害時、たくさんの人が押し寄せても大丈夫な校舎だと嬉しい
- ・ 学区再編に関して、和田岡地区からの返答が保留ということだったが、それでおしまいにならない方がいいと思う
- ・ 将来も地域に愛着が感じられる場所であってほしい
- ・ 人のぬくもりも異年齢で学び合える場所になると良い

学校設置場所の検討について

1 これまでの経過

① 候補地の選定

事務局案2案（原野谷中学校、原谷小学校敷地）に加えて、委員会から提案のあった市営住宅南方農地を加えた3案で検討をスタート。

第2回検討委員会で委員から提案のあった原谷小学校の北側敷地拡張プランを追加し、4案とした。

② 条件比較

4候補地について、各種条件について調査し比較を行った。

検討項目：面積、用地追加取得の必要性、学校環境、通学手段、安全性、経済性、事業スケジュール

追加資料：施設等必要面積、配置イメージ図、通学支援対象児童・生徒数、提供・調査 交通量調査

③ 地域住民の皆さんからの意見聴取

1月13日（土）：住民説明会（原野谷中体育館）

2月2日（金）：保護者座談会（こども広場あんり）
3日（土）

2月16日（金）：保護者説明会（原田学習センター）

3月3日（日）：保護者説明会（原谷小学校）

2 今後の進め方について

① 学校設置場所選定方法について —事務局提案—

検討委員会委員による総合評価方式による選定

直接的にどこの場所がよいのかを聞くのではなく、各候補地のそれぞれの条件について採点・評価する。

どこの場所がよいのかを委員に問わず、各候補地のそれぞれの条件について評価することで客観的に建設場所の選定を行うことができる。

また、評価項目を増やしたり、配点を変更させることで、望ましい学校をつくるためにより相応しい用地を選定することが可能になる。

② 今回の検討委員会で検討いただきたいこと

- ・評価項目は適切か（増やしたいものはないか）
- ・配点基準は適切か（重要だと思う項目には加点、そうでないと思うものは減点）
- ・評価項目に記載されている内容・評価の仕方について疑問はないか

③ 次回の検討委員会までお願いしたいこと

- ・後日、事務局から送られてくる評価シートに評価点を記入し、事務局まで返送する。

→次回（4月に開催予定）の検討委員会で集計結果を報告し、建設場所を決定

原野谷学園学校建設地候補地評価シート（案）

指標		考え方	配点		候補地	候補地	候補地	候補地	参考資料
					1	2-1	2-2	3	
敷地条件 (8点)	敷地面積	配置イメージ図等を参考に、学校運営を行うにあたって十分な広さが確保できるか。駐車場が欲しい等の要望をかなえられることが出来る広さがあるか。 【十分な面積を確保できる場合に高評価】	A	5					第4回 資料2-1,2
	敷地形状	施設を整備する際に、敷地の形状や既存の構造物（河川や道路）等によって、施設の配置が制約されることはないか。 【制約が少なく自由度が高い場合に高評価】	B	3					第4回 資料2-1,2
交通の利便性・安全性 (15点)	公共交通の接続	通学支援の対象となる子どもが公共交通を使用する場合の利便性はどうか。 【利便性が高い場合に高評価】	C	2					
	通学経路の安全性	子どもたちが安全に通学できると思われるルートで登下校設定が可能か。歩道や横断歩道の整備状況、交通量の少ない道路を使って通学ができるか。 【安全性が高い場合に高評価】	A	5					
	道路幅員等	学校周辺の道路はスクールバスや緊急車両がスムーズに進入できる道路幅員があるか。保護者の送迎などで学校周辺を通行する車両が増えたとしても渋滞が発生しにくい場所であるか。 【周辺の道路環境が良い場合に高評価】	A	5					
	長距離通学者	通学支援の対象となる子どもの想定人数 (小学生は4km、中学生は6kmが現在の基準) 【通学支援の対象となる子どもの数が少ない場合に高評価】	B	3					第4回 資料3-1

指標		考え方	配点		候補地	候補地	候補地	候補地	参考資料
					1	2-1	2-2	3	
周辺環境（3点）	騒音・振動・臭気等の有無	落ち着いて学校生活ができる環境であるか。 【良好な環境であれば高評価】	B	3					
防災面 （6点）	危険度（浸水）	ハザードマップ等における指定状況 【危険性が低ければ高評価】	B	3					第2回 参考資料2
	危険度（液状化）	ハザードマップ等における指定状況 【危険性が低ければ高評価】	B	3					第2回 参考資料2
地域連携 （5点）	こども園との連携	こども園（あんり）との交流のしやすさはどうか。 【交流がしやすい環境であれば高評価】	B	3					
	地域との連携	両地区の住民が学校に行きやすい場所であるか。 学校までの距離、地域住民の皆さんも駐車できる十分なスペースが確保できるか。 【学校と地域が連携しやすい場合に高評価】	C	2					
経済性（5点）	用地の新規取得、造成の有無	施設建設以外に要する費用がどれくらいあるか（用地取得費や造成費等） 【安価に整備ができる場合に高評価】	A	5					第3回 資料2-1
迅速性（5点）	開校までに要する期間	開校までに要する期間の長さはどうか。 （農地の転用手続きや造成等の期間も含めて評価） 【短期間で整備できる場合に高評価】	A	5					第3回 資料2-1
都市計画（3点）	都市計画・まちづくり	候補地周辺地域及び原田・原谷地区全体に対する都市計画やまちづくりへの影響はどうか。 【各候補地のプラス評価、マイナス評価を総合して、両地区にとってより良い影響があるものを高評価】	B	3					
				50					

・評価は絶対評価ではなく相対評価で。この条件だったら何点という基準は設けない。項目ごとに候補地間の優劣をつけていくイメージで。